



輝け!未来

藤野
ふじの・ゆうすけ

佑亮さん
萩間小6年 中里区

将来の夢はものを作ること。市の産業が活性化することに役立つものを作りたい

僕の夢はものを作ること、この牧之原市の産業が活性化することに役立つものを作りたいと思っています。そのために、どんなものが役に立つか調べていきたいと思っています。将来、牧之原市が人と人とが支え合っていて、困難を乗り越えていくことができるといいなと思います。そのために、僕は人を大切にすることを続けたいです。

▼「好きになってきた」。現在の業務に対する率直な意見です▼広報担当となり、一眼レフカメラや編集機器の使い方も分からず、四苦八苦しながらも駆け抜けたこの1年▼思い通りに写真が撮れなかったり、未だに上手くいかないことも多々ありますが、「市の歩みを記録する」広報紙を作成している責任感や、市民の皆さんの笑顔に出会えたときの満足感などは、格別のものがあります▼今後もより、業務に励もうと、文章を打ち込みながらそう思いました。



▼私が初めて舞台演劇を見たのは榛原文化センターホールでした。生で見る役者の迫力ある演技に圧倒され、その芝居の面白さは今でも覚えています▼最終公演の取材をしていて、中学・高校時代に友人たちと映画を見に来たこと、成人式を迎えたこと、小学生の娘の音楽発表会を見に来たことなどを懐かしく思い出しました▼皆さんにも、たくさんの思い出があるのではないのでしょうか▼昭和54年の開館から32年間、ホール棟さん、長い間お疲れ様でした。



ペンを置いてー編集後記